



大会テーマ

子どもとしあわせ おとなもしあわせ

人間としての
育ちの場を

今年は子どもの権利条約採択 30 周年を迎えます。
しかし子どもの虐待、いじめ・自殺問題は改善されず深刻です。
新自由主義経済のもと学校や家庭のあり方が問われるなか、
子どもの人間としての育ちの場とそれを支える幅広いつながりを考えます。

2019
8/10 土 11 日 12 月・祝

会場

桐朋中学校・高等学校 上履きと靴袋をご持参ください

〒186-0004 東京都国立市中3-1-10（裏面の地図をご参照ください）

JR中央線国立駅南口下車大学通りを南へ徒歩15分／JR南武線谷保駅下車大学通りを北へ徒歩15分

大会スケジュール

10日 (土)	10:00~12:00	教科研講座
	12:00~13:00	昼食
	13:00~15:30	はじめの集い / 記念講演
	16:00~18:30	教育問題フォーラム
	19:00~21:00	夕食交流会
11日 (日)	9:30~12:00	分科会①
	12:00~13:00	昼食
	13:00~17:00	分科会②
	17:15~19:00	教科研総会
12日 (月祝日)	9:30~12:00	分科会③
	12:00~13:00	昼食
	13:00~15:00	おわりの集い

参加費 参加申し込みは、大会当日「受付」でお願いします。

	教職員（フルタイム常勤）	一般	学生・院生
全日参加	5000 円	3000 円	1000 円
一日参加	2500 円	1500 円	500 円
高校生以下は無料			

キッズルーム

対象は3才以上、7月31日までの事前申し込み制です。
詳しくは問い合わせ先に連絡ください。

主催 教育科学研究会・多摩大会実行委員会

後援 国立市教育委員会・立川市教育委員会
日野市教育委員会・多摩市教育委員会



教科研講座 -10日午前-

参加者が関心に合わせて参加できる企画です。

若い教職員や保護者の方々、ベテランの方々も含め、お気軽にご参加ください。

No	テーマ	内容	世話人
①	子どもの学びをどうつくる？ 薄っぺらな学びはいやだ	学びはあそび、たのしい中にごそ本質的なことがあります。 ことばをあそぶ学びは深い学びに満ちています。	霜村三二 宮崎亮馬
②	それでも私は教師になる？ —大学生と考える—	教師の仕事の魅力と困難、教員養成へのギモン等々。 大学生とともに教師の学び・育ちについて語り合います。	山崎隆夫 佐藤高樹
③	今さら・・・ 聞いちゃおう・言っちゃおう、 学校のアレコレ	参加者が日頃感じている学校への疑問や思いを出し合い、 多方向からの「光」で学校の今を映し出します。	宮下 聡 篠崎 修
④	気になる子どもと子ども理解	かかわるのが苦手、落ち着けないなど、学校でつらさを 抱える子どもたちをどう理解し支えるかを考えます。	加茂 勇 永野佑子
⑤	幼児教育の現場から —疑問や要望を出し合おう！	保護者、保育者、それ以外の人も話し合しましょう。 研究者から幼児期の現状について問題提起もあります。	桜井恵子 村野かずえ
⑥	高校教師、クラスの保護者と 仲良くするために・・・。	高校で保護者と教師の連携の可能性はあるのでしょうか？ またその必然性は？参加者で話し合しましょう。	宮田雅己 関 英夫
⑦	男の子への性教育って？	日本の性教育では男子は蚊帳の外に置かれています。 男の子の身体と性について学び、話し合しましょう。	舟見久子 小高マツ
⑧	もっと知りたい＜児童相談所＞	さまざまな形で耳にする＜児童相談所＞。 改めてどんな場所かをしっかりと知り合しましょう。	荒巻りか 川松 亮
⑨	やってみよう！ 中学校の学級づくり・学校づくり	可能性にあふれる子どもたち。無理なく学年ごとに 投げかけてみるには？実践例をもとに話し合しましょう。	大山圭湖 佐藤 博
⑩	大田堯の生涯と仕事	昨年末に亡くなった大田堯（元教科研委員長）の生涯と 仕事を語り合います。報告は福井雅英、田中孝彦です。	荒井嘉夫 田中孝彦
⑪	怖くない、誰でも参加の ボールゲームで楽しい学び	ボールゲームが「わかり」、誰でもが「できる」遊び のようなボールゲームを紹介します。（体育館ばき用意）	増田 陽 西田 佳
⑫	フィールドワーク 砂川闘争の歴史を歩く	砂川闘争の歴史を中心に、新田開発から基地返還後 の現在までを歩きます。 ◎ 9 時立川駅集合、12時解散です。 ◎ 事前申し込み、7月31日、富永まで。 ◎ to.my52626673@gmail.com	富永信哉 高原太一

教育問題フォーラム -10日夕刻-



教育の世界で起こっている様々な問題を、大きな視点から鋭く深く切り込む分科会・分野を超えた企画です。

No	テーマ	内 容	世話人
A	学力テスト体制の中で わたしたちの教育実践をたてる	子どもの成長を長く深く捉える総合学習実践に学び、 政策が押し出す「資質・能力」構想を問い返します。	本田伊克 中村清二
B	教師の働き方改革、その現実	中教審答申を読み解き、いま教育現場に 本当に必要なものは何かを考えます。	佐藤 隆 杉浦孝雄
C	スタンダード (SD) で 子どもと学校はよみがえるか	SD は誰のためのもの？カリキュラム・マネジメント とセットで学校は？ SD との向き合い方を考えます。	梅原利夫 霜村三二
D	憲法と主権者教育	主権者を育てる教育実践の教育的価値と方法とは 具体的にはどんなものか。憲法との向き合い方を考えます。	佐貫 浩 中田康彦
E	＜児童虐待＞を 教育と福祉の視点から考える	SSW、児童相談所からの報告をもとに、私たちが それぞれの現場でどのように向き合うかを考えます。	片岡洋子 荒巻りか
F	被災地の学校と子どもたちを 考える	東日本大震災から 8 年が過ぎた被災地と、うち続く豪雨 災害の地域、学校と子どもたちの状況をみつめます。	佐藤修司 泉 宜宏



「それってどうなの主義でいこう」

むちゃくちゃやっても許される。肝心なことは伝えない。
フェイク情報は横行するし、セクハラや性差別は止まらない。
どう考えても真っ当な世の中とは思えないのに、
あきらめちゃう人が多いすぎる。
これじゃ若い世代が希望を持てなくても当たり前だ。
「それってどうなの」からはじまる第一歩。
少しでも前に進むための処方箋をいっしょに考えましょう。

斎藤美奈子さんプロフィール

1956 年、新潟市生まれ。文芸評論家。
1994 年、『妊娠小説』（ちくま文庫）でデビュー。
2002 年、『文章読本さん江』（ちくま文庫）で第 1 回小林秀雄賞受賞。他の著書に『名作うしろ読み』『吾輩はライ麦畑の青い鳥』（中公文庫）、『戦下のレシピ』（岩波現代文庫）、『学校が教えないほんとうの政治の話』（ちくまプリマー新書）、『文庫解説ワンダーランド』『日本の同時代小説』（岩波新書）など多数。



分科会ー11日午前・午後、12日午前ー



分科会は、教科研が継続的に研究活動を進める分野ごとの研究の場です。
全国各地からの実践や研究を持ちよって、参加者で議論を深めあいます。

No	分科会名 テーマ	内 容（概略または討論の柱）	世話人
1	子どもの生活と文化 豊かな子ども・青年期を保障するために	○家庭・学校・地域での子ども・青年の生活文化とその背景にあるもの ○豊かな子ども・青年期を保障することの意義	泉 宜宏（東京） 本庄 眞（三重）
2	青年期の教育	○子どもの表現を促し分かち合い深める学び ○中・高6年間を担任して～授業・行事づくり ○学習支援を通して育みたいもの	宮田 雅己（神奈川） 関 英夫（東京）
3	能力・発達・学習		富田 充保（神奈川） 吉益 敏文（京都）
16	現代の子育てと親・おとな 今子ども・若者に育てたいものは？ ～学校の内と外で (第2・第3・第16は、合同分科会)		田中 孝彦（東京） 渡邊 由之（兵庫）
4	身体と教育 子どもの権利条約と「身体と教育」	○子どもの現実を知ろう ○豊かな子ども期を保障しよう	横田 誠仁（東京） 山本 晃弘（神奈川）
5	美的能力と教育 今を生きる子ども・人々にとっての表現を探る	○桐朋の教育に学ぶ ○小学校の音楽、技術・工芸教育の展開 ○中学校での美術教育 ○コミュニティアートの現在	山田 康彦（三重） 落合 利行（東京）
6	ことばと教育 主権者を育てることばと教育の創造	○ことばの豊かな発達とコミュニケーション ○ことばを育てる国語・外国語の授業 ○生活に根ざして紡ぐ自己表現活動	瀧口 優（埼玉） 神 郁雄（東京）
7	社会認識と平和 子どもの認識をひらく歴史教育・主権者教育	○歴史・平和教育実践が意味するもの ○政治的中立と主権者教育 ○子どもが足を運び、目で確かめる「歴史」とは	神原 昭彦（東京） 池田 考司（北海道）
8	自然認識と教育 学習主体を育てる自然認識の探究	○自然に働きかける教育活動の今日的意味を考える ○学習主体としての「深い学び」を自然認識発達の視点から探る	三石 初雄（東京） 大森 享（東京）
9	道徳性の発達と教育 道徳教育の批判と創造	道徳部会編『道徳教育の批判と創造』を一つの素材に、 道徳教育をつくり変える対抗的実践の可能性を探る。	奥平 康照（東京） 櫻井 歆（東京）
10	教育課程と評価 教室と学校の日常から教育課程をたちあげる	○子ども・青年の主体的な学びを創造する ○授業実践の統制と画一化を超える ○子どもを励ます教育評価の工夫	本田 伊克（宮城） 梅原 利夫（東京）
11	学校づくり いまを生きる子どもと共に学校をつくる	○いま、学校は ○スタンダード化が進む学校…現代管理主義教育の問題 ○世代間の共同	田沼 朗（山梨） 山沢 智樹（東京）
12	地域と教育 学校の〈外〉をまなざす	○どうする、子どもたちの放課後 ○地域を考える学びとは ○大田堯先生が遺されたこと	安藤 聡彦（埼玉） 長谷川正利（神奈川）
13	政治と教育 主権者を育て、教育政策にどう向き合うか	○主権者教育をつくる ○政治化される中での学校・地域の教育課題 ○教育におけるコミュニケーションの統制	中田 康彦（東京） 寺尾 昂浩（神奈川）
14	性と教育 自立と共生 子どもたちの性をどう育むか	○現代の子ども・教師と性 ○共に生きる主体を育てる（自他の大切さを学ぶ実践をもとに） ○ジェンダー／セクシュアリティを考える授業	杉田 真衣（東京） 山田 真理（大阪）
15	発達障害と教育 子どもの理解を軸に据えた実践をつくる	○発達障害等のある子どもの理解を深め、実践につなぐ ○共に生きる主体が育つ実践をつくる	小池 雄逸（東京） 加茂 勇（新潟）
17	教師の危機と希望 「教師受難」の時代を乗り越える	○教育実践の危機と教師の困難 ○教師を生きたらはどういうことか ○教師の学びと協同をつくりだす	佐藤 隆（山梨） 霜村 三二（埼玉）
18	教室と授業を語る この一年のあの授業	一年を振り返った時、陰影深い授業がある。 それがなぜ印象深いのか。教室の物語から授業の秘密へ接近する	中村 清二（東京） 西田 佳（東京）



はじめの集い

多摩大会実行委員会がこれまで積み上げてきた学習・交流の集大成としてのパフォーマンスでお迎えします。

あいさつ

藤田和也 (大会実行委員長)



会場校あいさつ

片岡哲郎さん

(桐朋学園小学校・桐朋中学校・
桐朋高等学校 校長)



問題提起とリレートーク

中田康彦 (大会副実行委員長) + 実行委員会



記念講演

斎藤美奈子さん



夕食交流会



全国各地からの参加者の交流の場です。

夕食を食べながら、若手教職員、保護者、ベテランetc.この機会に語り合しましょう。
名物・地酒・名菓などお土産歓迎します。

参加費4000円 (学生・院生2000円)

参加申し込みは、当日「受付」でお願いします。

終わりの集い

シンポジウム「子ども・若者の声に応え、つながりをつくる」

子ども・若者を支えるつながりづくりと学びを考え、大会のまとめとします。

宿泊

幹旋等はおこないません。
参加者の皆さまご自身で、
早めにお申し込みください。

昼食

ご持参ください。
(学生食堂の利用も可能です。)

お問い合わせ

教育科学研究所事務所

〒162-0818 東京都新宿区築地町19小野ビル2階

(電話での対応は火・金の13:00~17:00)

TEL&FAX

03-3235-0622

kyoukaken@nifty.com

